

# 委員会審査概要

## 総務水道常任委員会

### ◆一般会計補正予算

バス利用促進支援金について、バス路線網の拡充についての見解は。

コロナの影響による利用者減、燃料費高騰等、事業継続に影響があると事業者から聞いている。そうした中でバス路線の拡充は需要がないと難しいと考える。引き続きバス事業者との協議の中でバス路線の最適化を検討していく。

市内バス事業者6者全てがこの事業に参加するのか。

市内の駅を発着しているバス事業者6者とも参加の意向を示している。

対象者の手元に届く時期は。

7月下旬頃の郵送を予定。

公共交通事業継続支援金活用の効果は。事業者へのヒアリングの状況は。

支援金交付後の事業者への

確認は行っていないが、今後の事業継続全般として支援金を交付している。

### ◆新型コロナウィルス感染症対応

地方創生臨時交付金のうち、推奨事業メニュー分の交付限度額に対し市の事業費が上回っている。予算編成の考え方は。

交付金の目的に応じて必要な事業を組み立て、交付金を最大限に活用できるように予算編成している。

賛成全員で可決



委員会報告を行う戸田委員長

## 文教福祉常任委員会

### ◆一般会計補正予算

よしかわくらしサポート商品券給付事業について、この事業はこれまで商工部門が実施していたが、今回は福祉部門とのこと。目的と給付方法は。

今回の商品券給付は低所得世帯への生活支援が主な目的であり、さらに臨時交付金の推奨メニューにもなっている地域経済の下支えを行う観点から商品券での給付とした。給付方法は、直接対象者に送付する。

新型コロナワクチン接種に関して、少し前に中学生が接種により死亡したとの報道があったが、ワクチン接種のリスクやメリット・デメリットの周知はどのように図っていくのか。

これまでどおり、接種券に案内文を同封し、接種について十分検討していただけるようにしている。

給食費減免等の考えはあるか。

現時点では、価格高騰はいつまで続くかは不透明である。今

後も引き続き子育て家庭へ影響が及ばないようにしていきたい。

賛成全員で可決



委員会報告を行う吉川委員長

## 建設生活常任委員会

### ◆財産の取得について

市内に配置されている排水ポンプの台数は。

大型排水ポンプ車が3台ある。

老朽化している排水ポンプはあるのか。

大型排水ポンプ車は全て同じ時期のものである。

大型エンジンポンプ車の購入年、不具合発生時期は。

昭和60年製で、職員の点検で不具合が判明した時期は令和4年8月であるが、メーカーに詳細調査を依頼して、

修理不可能との報告を受けたのは11月末である。

ポンプの不具合は突然に発生したのか。

職員による毎月の点検で、突然発生した。

メーカーから修理不可能との報告があった後は、どのような対応をしたのか。

報告を受ける前から、同等性能のポンプの在庫確認、デモンストレーション用排水ポンプ車の調達依頼、国交省への機材借入れの相談等を並行して実施したが、受注生産であり、災害発生前の機材貸し出しはできない等でポンプの手配ができず、新規購入するポンプの機器選定に移行した。

賛成全員で可決



委員会報告を行う稲葉委員長